

第6回ふるさと川柳コンテスト審査委員選評

最優秀賞 コンバインいつかはぼくもうんてんしゅ

【大西委員】コンバインで稲を刈り取っているのはお父さん、いや、お爺ちゃんかな？ カッコイイ姿を見て、ぼくも大きくなったらコンバインを運転したいと思ったんだよね。〈いつかは〉の言葉に将来の夢があふれていてステキです。

【清水委員】コンバインを運転しているのはおじいちゃんでしょうか？ カッコいいなあ〜と羨望のまなざしで見つめる子どもの姿が目には浮かびます。「いつかはぼくもうんてんしゅ」というフレーズがとても可愛いですね。

【上田尾委員】農業機械で最も大きい“コンバイン”としたことで、広がる田畑の大きさが目に浮かびます。“いつかは”にはその作業への憧憬が感じられる一方、“うんてんしゅ”には子供らしさも感じられます。ふるさとへの愛情が現れ、情景が現れてくる素晴らしい一句です。

優秀賞 ふるさとはわたしに勇気くれた場所

【大西委員】何があっても自分に味方してくれる場所、きっとそれが〈ふるさと〉なのでしょうね。落ち込んでいる時も、また顔を上げて前に進むことができる、そんな元気を取り戻すようすが上手に表現されていますね。

【清水委員】ふるさは人生の出発点であり、ここから人生を歩いていく大切な場所と時間です。当たり前の日常こそがかけがえのない日々である。その思いが「勇気をくれた場所」というフレーズに表れています。

【上田尾委員】何があっても“ふるさと”は私を癒してくれ、そして元気をくれる。そんな“ふるさと”の持つ癒しパワーを再認識させてくれる句です。

優秀賞 おのっことはひまわりみたいやさしいな

【大西委員】小野のひまわりはとっても有名ですが、そこで暮らしている〈おのっこ〉はみんなひまわりみたいに明るくてやさしいんですね。全部をひらがなで書いたことで句がとてもやわらかくなりました。

【清水委員】ひまわりは小野市のシンボル。ひまわりの丘公園に咲きそろった光景は、ほんとうに綺麗です。レモンイエローの花は元気を分けてくれますね。ひまわりの花に囲まれて育った子どもたちも、明るくて優しいのでしょう。

【上田尾委員】小野市の花“ひまわり”は太陽に向かって咲く花。元気な花の象徴と言えます。その元気さあふれる“おのっこ”は“やさしさ”も併せ持っている。きっとこの子のまわりもそのような元気あふれる友達で一杯なのでしょう。

優秀賞 土よう日はゲートゴルフだ三世代

【大西委員】ゲートゴルフって何だか楽しそうですね、それも三世代でやるって本当にスゴイ。だからみんなが集まりやすい土よう日なんですね。いちばん上手なのは誰かしら、なんて、いろんなことを想像させてくれるいい句です。

【清水委員】ゲートゴルフは、ゲートボールとゴルフのいいところどりのスポーツです。個人競技で、ルールも簡単。始めたその日から楽しむことができます。老いも若きも世代を超えてゲームに興じる姿が、「三世代」という言葉に表れています。

【上田尾委員】家族三世代が、“ゲートゴルフ”を通じて触れ合う様が表現されています。サッカーボールを使って行う、ゲートゴルフは若者に人気のサッカーとゴルフを組み合わせたもの。三世代の仲の良さが感じられるほのぼのとした句です。